

第691回番組審議会報告

2024年9月3日開催

■出席委員

佐藤卓己委員長、栗栖義臣副委員長、川瀬慈委員、木戸哲委員
小島幸保委員、津村記久子委員（書面参加）、増山実委員、安田真奈委員

■毎日放送出席者

虫明社長、宮田副社長、高山常務、酒井常務、磯澤取締役、
北野取締役、中野取締役、田淵総合編成局長、東田制作局長、
小林プロデューサー、奥田コンプライアンス局長、東野法務部長、
東郷広報部長、中西番組審議会事務局長

◆議事の概要

報告事項 「ゼニガメ」について

【概要】

「ゼニガメ」（水曜午後8：00～9：58放送）について、放送内容に一部事実と異なる部分があったとのリリースを7月18日に行った件について調査結果と再発防止策を番組審議会に報告し意見交換を行った。

【調査結果】

① 2024年7月17日放送分について

家屋の清掃・遺品整理を行う様子を密着取材している際に金庫から金の延べ板が見つかり、買取業者が現金で買い取る様子を放送したが、金庫と金の延べ板は、事前に準備されたものだったことが明らかになった。依頼者も当該家屋とは関係のない人物で、業者に依頼されていたことが判明した。制作スタッフが買取業者による事前準備に関わっていたり、認識していたことを示すものはなかった。

② 2023年11月29日、2024年5月8日放送分について

買取業者が、土地建物を現金で買い取る様子を放送したが、調査の結果、2回とも当該土地建物は当該買取業者がロケ以前に買い取っていたもので、実際には売買はロケ当日には行われておらず、「依頼者」として登場した人物も、当該買取業者が事前に依頼していたことが明らかになった。また、ロケで登場した司法書士も、当該買取業者が依頼したもので、実際の売買ではな

いことを知りながら立ち会っていた。制作スタッフの関与については、2回の放送いずれも買取業者による事前準備に関わっていたり、認識していたことを示すものはなかった。

【再発防止に向けて】

今回の調査結果を受けて制作局として以下の再発防止策を講じることとした。

- ①企業のサービス利用者の取材は、番組が主導・交渉して取材対象を選定することを原則とする
- ②各番組の出演許諾書に「番組で取り上げた取材対象企業・店舗の関係者（過去も含む）ではなく、一切の利害関係がないこと」「自身のプロフィールや番組内で述べた事実について虚偽が無いこと」旨を盛り込む
- ③やむを得ず企業からサービス利用者の紹介を受けて取材する場合、企業側と「紹介を受けた利用者が（自社の）関係者ではない」旨を記載した「確認書」を交わす
- ④上記①～③の確認漏れを防ぐため、企業から紹介を受けたサービス利用者取材する場合には「チェックシート」を作成
- ⑤密着取材の制作スケジュールに余裕を持つ
- ⑥特にリスクが予測される取材対象に対して「ファクトチェック」の意識を強化

【各委員の主な質問や感想】

- *この取材がニュース枠の番組だったらこのようなことはなかったのではないか。「バラエティだから」と取材先に軽く見られたのではないか。
- *バラエティだから、買取業者がハードルが低い意識のまま出演していると思う。「バラエティだから面白いものを作りたいんでしょう？」と見透かされているようで、もしそう思われているとすれば残念だ。
- *買取と清掃を同時にやるというシステムの中で「何かしら出てくる」ということに信ぴょう性があるのかということについては慎重になってもよかったのではないか。
- *視聴率を取りたいという制作者のメンタリティに付け込まれ、業者にまんまとだまされた、という印象だ。
- *基本的には買取業者の問題だが、取れ高や絵の強さなど一連の映像の中に何らかの結果を求める、という環境の土壌があった上で問題が起こったのではないかと感じる。
- *買取業者のVTRについては、スタッフの中に「これはおかしいのでは」とセンサーが働いた人がいたのではないか。
- *不動産の売買時に同時に家の中の動産も売買する取引は、実務とはかけ離れており異常だ。制作スタッフのアンテナが届かなかったことが残念。
- *金の延べ板は現場で現金化する必要はない。あの場で売買が成立することが

おかしいと思わなければならない。

- *制作スタッフにとっても、取材先にとっても、「何とかこの日に撮れ高が必要」と思わせる制作スケジュールだったのではないか。ワンチャンスしかないという状況が焦りを生んだのでは。
- *再発防止策は普段から人を疑って見ている人たちの意見を反映させるべき。公的資料を可能な限り入手したり第三者に話を聞くことが必要である。
- *今後は企画段階から取材対象が利害関係者ではないことを入念に確認すべきだ。
- *不動産取引を番組で取り上げる際は、不動産登記を必ず入手したほうがいい。
- *司法書士からも出演承諾書をとっていれば、その段階で見抜けていたのではないか。
- *再発防止策を徹底的に実行したら今後同じようなことは防げると思うが、取材対象者を疑って作った番組は果たして面白くなるのか。いっそのこと発想を変えて既成概念にとらわれない新しい番組を制作していくためのきっかけにしてほしい。

以 上